

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き  
(2017年3月調査)

1. 業況判断

3月調査では、製造業、非製造業とも概ね横ばいとなったため、全産業では6と前回調査から横ばいとなった。因みに、前回調査では悪化、水準は▲5を予測していた。

製造業・・・化学、電気機械が改善したものの、鉄鋼、輸送用機械が悪化したため、全体では6と前回調査から横ばいとなった。前回調査では▲10ポイントの悪化を予測していた。

非製造業・・・電気・ガス、情報通信は改善したものの、宿泊・飲食・対人サービス、卸・小売などが悪化したため、全体では5と前回調査の水準に比べて▲1ポイントの悪化となった。前回調査では▲11ポイントの悪化を予測していた。

先行き(2017年6月予測)は、製造業が悪化するため、全産業では▲4ポイントの悪化を予測。

2. 需給・在庫・価格判断

国内での製商品・サービス需給(製造業)・・・「供給」超幅は縮小。

製商品在庫水準(製造業)・・・「過大」超幅は縮小。

販売価格(全産業)・・・「下落」超幅は縮小。

仕入価格(全産業)・・・「上昇」超幅は拡大。

3. 売上・収益計画

(1) 売上高

2016年度(計画)は、製造業は前年度比▲1.7%の減収、非製造業は同▲0.2%の減収となり、全産業では同▲1.0%の減収計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲0.2%)、非製造業(同▲0.7%)とも下方修正されたため、全産業では▲0.5%の下方修正となった。

2017年度(計画)は、製造業は前年度比1.2%の増収、非製造業は同1.5%の増収となり、全産業では同1.3%の増収計画。

## (2) 経常利益

2016年度(計画)は、製造業は前年度比2.7%の増益、非製造業は同▲7.5%の減益となり、全産業では同▲0.5%の減益計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率4.3%)は上方修正されたものの、製造業(同▲11.7%)は下方修正されたため、全産業では▲7.5%の下方修正となった。

2017年度(計画)は、製造業は前年度比▲8.4%の減益、非製造業は同15.1%の増益となり、全産業では同▲1.6%の減益計画。

## 4. 設備投資計画等

### (1) 設備投資額

2016年度(計画)は、製造業は前年度比3.4%の増加、非製造業は同30.2%の増加となり、全産業では同15.5%の増加計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率27.5%)は上方修正されたものの、製造業(同▲29.1%)は下方修正されたため、全産業では▲8.4%の下方修正となった。

2017年度(計画)は、製造業は前年度比2.1倍、非製造業は同▲28.1%の減少となり、全産業では同39.0%の増加計画。

### (2) 生産・営業用設備判断

生産・営業用設備 . . . 製造業の「過剰」超幅は縮小したものの、非製造業の「不足」超幅は縮小したため、全産業では▲5と前回調査並みの「不足」超となった。

## 5. 雇用

雇用人員判断 . . . 非製造業の「不足」超幅が縮小したため、全産業の「不足」超幅は▲21と前回調査比縮小。先行き(2017年6月予測)の「不足」超幅は拡大を予測。

## 6. 企業金融

資金繰り判断(全産業) . . . . . 「楽である」超幅が拡大。

金融機関の貸出態度判断(全産業) . . . 「緩い」超幅が拡大。

借入金利水準判断(全産業) . . . . . 「低下」超幅が縮小。

以上